

# 仙台白百合学園 学園報

Sendai  
Shirayuri Gakuen  
Campus Report

Vol.89

仙台市泉区紫山1-2-1  
幼稚園: (022) 777-6777  
小学校: (022) 777-3777  
中学校: (022) 777-5777

平成28年  
12月14日発行

SGH SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

<http://www.sendaishirayuri.net/>

今日ダビデの町で、  
あなたがたのために救い主が  
お生まれになった。  
この方こそ主メシアである。  
(ルカ2章11節)

Merry Christmas

I heartily send all good Christmas  
wishes to you and your family.

仙台白百合学園

《平成29年度 園児・児童・生徒募集ご案内》詳細は学園ホームページをご覧ください。

## 幼稚園 園児募集について Kinder-garten

TEL:022-777-6777 E-mail:office3@sases.jp  
<http://kd.sendaishirayuri.net/>  
ロンちゃんBlogも  
ご覧ください。



### お知らせ

- 11月1日に平成29年度の入園手続きが終了いたしました。なお、転入や入園に関することにつきましてはお気軽にお問い合わせ下さい。
- ◆ TEL:022-777-6777 ◆ e-mail:office3@sases.jp

## 小学校 児童募集について Elementary school

TEL : 777-3777 FAX : 777-3778  
<http://el.sendaishirayuri.net/>  
しらゆりノートもご覧ください。

### 募集人員

- 第1学年 女子70名(併設幼稚園の入学者を含む)

### 出願期間

- 新1年生の入学願書、受け付けております。  
※2・3・4・5年生の転入に関しては、随時受け付けております。

### 出願手続き

- 必要書類及び検定料を小学校受付に提出してください。  
※本校指定の入学願書



### お知らせ

- 平成28年度新1年生より、算数を英語で学ぶCLILコースがスタートしました。定員20名(募集人員70名を含む)

## 中学・高等学校 生徒募集について Junior & Senior High School

### 中学校

今年度から  
英語入試が  
始まります

### 募集人員

- 120名

### 入学考査

- 平成29年1月 5日(木)



### 高等学校・全日制

### 募集人員

- LIコース(総合進学) ..... 155名
- LSコース(特別進学) ..... 40名
- LEコース(英語・留学) ..... 30名

### 推薦入試

- 平成29年1月11日(水)

### 専願・一般入試

- A日程 平成29年1月25日(水)
- B日程 平成29年1月27日(金)



### お問い合わせは

仙台白百合学園 中学・高等学校入試広報部  
TEL: 022-777-5777 <http://www.sendaishirayuri.net/>

## 通信制課程 エンカレッジコース生徒募集について Encourage Course

### 学校説明会

- 平成29年1月28日(土)

### 4月生募集人員

- 女子 80名
- 対象 宮城県、神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県、福島県、山形県、岩手県、青森県、北海道に在住する方

### 出願期間

- I期: 平成28年12月 7日(水)~平成29年1月17日(火)
- II期: 平成29年 2月 8日(水)~平成29年3月16日(木)



### 入学考査

- I期: 平成29年1月19日(木)
- II期: 平成29年3月18日(土)
- ※編入学・転入学は随時受け付けます。



### お問い合わせは

仙台白百合学園高等学校 通信制課程 エンカレッジコース  
TEL: 022-777-6625 <http://enc.sendaishirayuri.net/>

# 3年目のエンカレッジコース 教頭 阿部 和彦

通信制課程エンカレッジコースは開設して三年目に入ります。これまで二十人が卒業し、十一月現在で八十二人が在籍しています。スクーリングは、水曜日と土曜日に設定されていて、その他の曜日は「自由登校日」としています。エンカレッジコースでは、この自由登校日を活かして、様々な体験講座を行っています。

今年度新たに始めたのは、人とつながり社会とつながること豊かな人間力を育てようという企画で、「つながるカプロジエクト」と呼んでいます。これまで、多方面の専門家を学校に招いてワークショップを行う「キャリアプログラミング・セミナー」を開いたり、被災地に行き現地の人と交流をする活動を行ってきました。これまで五回石巻を訪れ、夏には二泊三日の合宿を行ったり、先日は網地島に渡り、サツマイモを収穫してきました。その芋で栗さんさんを作り、石巻の復興住宅で地元の人々とお茶っ子で交流もしてきました。

また、この自由登校日には、学校でもいろいろな講座を開いています。パッチワーク講座、アロマ体験などの体験講座や、英検対策講座、外国人教師による英会話講座なども開かれています。ボランティアも盛んで、被災地でのボランティアの他にも、路上生活者のための炊き出しボランティアに行ったり子どもたちと遊ぶボランティアや施設訪問なども行ってきました。



10月23日 網地島でサツマイモ掘り

人間力を高めていこうというのがエンカレッジコースの学びのスタイルです。人間には、様々な個性があり、持っている能力も、考え方も、健康面も一人ひとり異なります。それらの個性には、全日制に合う個性もあれば、通信制という柔軟な学習スタイルの方が合う個性もあります。それらは、すべて神様から与えられた尊い個性です。仙台白百合学園は、どんな個性も大切に育てていくために、全日制に加えて通信制を作りました。

今年の六月には、エンカレッジコースの生徒も、レジナパースホールで学園記念日をお祝いしました。紫山には、幼稚園、小学校、中学校、そして全日制と通信制を兼ね備えた高校があります。これからは、ひとつの白百合ファミリーとして、ともに支え合い、強め合って歩んでほしいものです。

## 私学振興大会

### 本校小二の和太鼓と 中高生のオーケストラ演奏

オーケストラ顧問 若松 沙織

私学振興大会が去る十月二十六日に電力ホールで行われました。今年度は生徒アトラクションの部において本学園が担当することになり、昨年の私学振興大会を視察することから始まり、一年間をかけて構想を練り、本番を迎えました。本学園からは小学二年生四名と中高オーケストラ七〇名、放送部一名が出演をしました。幼・小・中・高・大の連携と特色ある女子教育を四十分の演出の中でいかに表現できるかを考え、企画し練習してきました。小学二年生とは思えない迫力ある和太鼓演奏を始めに、中高オーケストラにおいても「和」を意識し、日本音楽を選曲し演奏しました。二曲目では宮城県民謡の「斉太郎節」に準じた演奏を取り入れ、和と洋の融合を図り、女子にしか表せない繊細さとダイナミックな演奏と想いを観客の皆様へ伝えることができました。曲間には本学園の様子を放送部の生徒によりアナウンスし、学校紹介も兼ねて仙台白百合学園をPRしました。最後に父母教師会役員の方々、小学生とともに、オーケストラの伴奏で「花は咲く」の合唱をし、これからの宮城県の私立学校の発展をお祈りいたしました。四十分という短い演出ではありましたが、改めて仙台白百合学園の特色ある教育から生まれる心こもった演出の集結によって、とても感動的な舞台となりました。たくさんの方々のご協力もあり成功することができたことに感謝申し上げます。



### 訃報

旧職員安斎美樹先生(国語科)が十月十六日に、旧職員千葉信夫先生(保健体育)が十一月十八日に亡くなられました。  
天国での安息をお祈りいたします。

# クリスマスメッセージ

## 一緒にいるよ!



サレジオ会 関谷 義樹

クリスマス、おめでとうございます。  
「おめでとう」というのですから、やっぱり二千年前のあの出来事は、私たち一人ひとりと無関係ではないのですね。

せん。でも実は、キリスト教は難しい理論やイデオロギーではなく、そのメッセージはある意味とても単純明快です。それは、  
「一緒にいるよー」です。  
神さまは、人間に対して、常にこのメッセージを発しつづけています。

神さまは、ご自分がお創りになった人間が離れていっても(人間は神の似姿をゆがめ、自己中心的になって神から離れた)、決して人間を見捨てることなく、闇の中で苦しんでいる人間のほうに近づき、あれやこれやといろいろな手段で人間を救おうと苦心します。そして「この人間に語りかけました。イエス・キリストにおいてだと信じて

「私はあなたと一緒にいるー」  
(参照:創二六・二四 エレミア・八)  
キリスト教では、この言葉が最高の形で実現したのが、神であり人であるイエス・キリストにおいてだと信じて



います。神が人となったー神の言葉が人となったー誕生したイエスはインマヌエル(私たちと共にいる神)だーと。これがクリスマスで祝っていることなのです。  
生まれたイエスは、やがて大人になり、この地上で一番小さくされた人間と一緒にいることによって、神さまと一緒にいることを教えました。そして、  
「あなただけは、神から離れた人ではありません。死んで私たちが人間から離れてしまったわけではなく、復活して弟子たちにこの約束しました。」

「あなただけは、神から離れた人にはしかその対象を広げられないかもしません。でもいつか、イエスのように、そして二一三八年前、函館に渡ってき

「私は世の終わりにまでいつかあなたと一緒になるー」  
(マタイ二八・二〇)  
昨今の、さまざま痛ましい事件の背景には、人間関係のつながりが希薄になってきたこと、言い換えれば「共にいること」を忘れて、孤独になってしまっている現代人の問題があるのではないのでしょうか。

「あなたは今、誰と一緒にいたいのですか？」  
「あなたは今、誰と一緒にいてほしいのですか？」  
「あなたは今、誰と一緒にいるべきですか？」  
「あなたは今、誰と一緒にいるべきですか？」

「あなたは今、誰と一緒にいるべきですか？」  
「あなたは今、誰と一緒にいるべきですか？」  
「あなたは今、誰と一緒にいるべきですか？」  
「あなたは今、誰と一緒にいるべきですか？」



たシャルトル聖パウロ女子修道会の三人のフランス人のマ・スールのように、さまざまに、特に弱っている人を目に向けて近づき、  
「大丈夫だよ、私が一緒にいるよ」と声をかけて共にいてあげることができたらどんなに素晴らしいことではないでしょうか。  
二〇一六年のクリスマス。あらためて神さまが私と共にいることを思い出し、そして今度は私たちが一人ひとりの番です。この喜びのメッセージを「私」を通して誰かに届けられたらいいですね。





# 幼稚園

**Q1** 大きくなったら何になりたい?  
**Q2** ぼくの、わたしのすてきなところ!  
**Q3** わたしたちの幼稚園ここがオススメ!

年長児にインタビュー

<p>①がかにになりたい。 ②えほんをかきたい。 ③やさしいおねえさん、おにいさんがたくさんいるところ。 (のだ りんご)</p>	<p>①おはなやさん ②うたがじょうずになったところ。 ③ひろいそとあそべるところ。 (ゆづり)</p>	<p>①カップケーキやさん ②いっぱいいちごのおせわができること。 ③ブランコ、ジャングルジムがある。 (かしわぎ かおる)</p>	<p>①ケーキやさん。 ②うたがじょうずになったところ。 ③ひろいおにわがある。 (おおたけ あおは)</p>		<p>①けいさつつかんか ②ピラオのカメラマン。 ③おじいさんがじょうずにできること。 ④せかいちず、にほんちずのおじいさんができること。 (えんじゅう たかひで)</p>	<p>①ケーキやさん。 ②ともだちにやさしく話せること。 ③おじいさんとせいめいのれきがでる。 ④えいごのレッスン。 (こづい)</p>	<p>①はかせみたいにあたまが いいひとになりたい。 ②ともだちにやさしく話せること。 ③あめのひでもゆきのひでもあそべる。 (こざうし はるひ)</p>
	<p>①おはなやさん。 ②パパがおじいさんとして いるときがまんまとって いられること。 ③おいのりがだいすき。 (つちだ にこ)</p>	<p>①パイロミット。 ②ラッパがじょうずな ところ。いっしょに けんめいがんばっていた。 ③たくさんあそべる。 (すずき こつたろう)</p>	<p>①ようちえんのせんせい。 ②おじいさん。いっしょに けんめいがんばれたこと。 ③あめのマフラーをつくれる こと。 (よしはら さあや)</p>		<p>①ケーキやさん。 ②ちいさいこにやさしく話せる こと。 ③たいいへんががひんてすき。 たくさんあそべる。 (まつおか みく)</p>	<p>①ペットショップやさん。 ②いつもここにできる こと。 ③みごとばフランスがある。 (おのっせ ゆめら)</p>	
<p>①ものしりはかせになりたい。 ②あしがやいここと。 ③おおいスワールパス。 (やまもと きつぺい)</p>	<p>①きょうりゅうはかせ。 ②おじいさんがんばれる ところ。 ③ホワイエが楽しい。 (むらやま けい)</p>		<p>①おはなやさん。 ②いもこのおせわができる こと。 ③おじいさんがジューづくりが できる。 (みづき じほき)</p>	<p>①おはなやさん。 ②ひこにいろいろなはしよを しんせつにおして あげられること。 ③おともだちがいっぱいいる ところ。 (まつだ あん)</p>	<p>①ケーキやさん。 ②おじいさんがじょうずなところ。 ③いろいろなおじいさんがいる。 (ながおか あゆみ)</p>		<p>①カップケーキやさん。 ②うたがじょうずになったところ。 ③きつてあそびでむずかしい けいさんもできること。 (こづいんや あかり)</p>

**今後の行事予定**

1月	11日	三学期始園日
2月	9日	縄跳び大会
	15日	一日入園
3月	3日	ひなまつり
	9日	お別れ会
	14日	終園式
	15日	卒園式

**卒園生 クリスマス会**

年に一度、卒園生が集まる卒園生クリスマス会では元気な声と笑顔がたくさん幼稚園に帰ってきます。春に卒園したばかりの小学一年生から、お父さんお母さんになっている社会人まで、百余名の卒園生が幼稚園という学び舎でつながり、それぞれの幼稚園時代を振り返りながら一緒にひとときを過ごします。久しぶりの再会を思い出話にも花が咲きます。

第一部では、みごとはの祭儀

が行われ、イエス様のご誕生を厳かな雰囲気の中でお祝いします。手を合わせ、目をこぼり、祈る姿勢は幼稚園の頃の姿のままです。第二部では、毎年工夫をこらし、ビンゴ大会やゲーム大会で大盛況です。楽しい時間はあっという間に過ぎ、「また一年後に絶対来ようね」と約束する声があちこちから聞こえてきます。

毎年十二月、第二週目の土曜日はみなさん、幼稚園で待ち合わせですよ!

**いろいろな国旗があるね**

またベトナムからいらしたマ・スールをお迎えする為にベトナムの国旗を作ったり、あいさつをして、とても喜ばれました。自分の身近な環境の探索をしてきた子ども達は少しずつ視野が広がり、興味関心が世界へと向けられ始めています。

お迎えはベトナムの国旗で!

世界の国旗を作ったよ!

**おしごと紹介**

その14

**国旗**

夏のリオデジャネイロオリンピックでは日本の選手活躍に皆夢中になりましたね。オリンピックでは沢山の国旗が見られ、旗を見るとその国の歴史が分かります。子ども達も大好きな選手の国を地球儀で探したり、国旗を調べています。

## 学習発表会

十月二十九日

### 二年生の感想より

二年生は、創作和太鼓に取り組みました。  
リズムパターンを言葉で唱える「口唱歌(くちしょうわ)」によって曲を覚え、四十五名の児童が、大太鼓九台と締太鼓四台を打ち鳴らし、パワフルな組太鼓演奏を披露しました。

二年生は、太このえんそうをしました。さいしょ、どんな太こかなあと考えていたら、校長先生がうんどう会であたたく太こだとわかって、あんな大きな太こをたたけるかなと思いました。はじめて太こをたたいた時、体にひびいてきました。れんしゅううしていくうちに、大きな音が出るようになってきました。毎日のれんしゅうは、たいへんだったけど、とても楽しかったです。

(野宮 えまゆ)

太この先生にバチの持ち方や太このたたき方を教わり、毎日みんなであそびだくになりながらがんばりました。足とうでがきん肉つうになったり、リズムが合わなかったりしました。うち出しが一番むずかしかったです。何ども

いて、先生に何回も教えてもらいました。本番では、大太このバチも、しめ太このバチもあそびにできました。何どもれんしゅうしたので、コツをつかみ、楽しくたたくことができました。みんなで頑張った学習発表会は、とても楽しかったです。

(山田 さな)

本番でアナウンスがなり、とつてもきんちょうしました。れんしゅうしたところをせんぶ出さきろうと思いがら、一生けんめいたたきました。せつたいに、まちがえずにおられるようにすぐがんばりました。お家に帰った時、お母さんとお父さんが、「上手だね」と言ってくれました。家族みんなも、「上手だね」と言ってくれたので、とてもうれしくなりました。

(ぶくなが もも子)

すつとれんしゅうしてきたので、一番いい太こをひろうたいと思いましたが、はじめの「やあ」を元氣よく大きな声で言いました。しめ太こは、まちがえずにたたけました。強弱をちゃんつけてできました。今までで、一番上手にできたと思います。たくさんの方がきて、たくさんのはく手をいただきました。いっぱいれんしゅうしてよかったです。

(二言 いるは)



## 四年生 加美町の方々との交流

六月に四年生は、加美町でふるさと体験合宿を行いました。農家の方々の協力によって、自然に触れ、農作業を体験し、たくさんを学びました。  
九月に四年生は、再び加美町を訪れ、枝豆収穫とずんだもち作りを体験しました。そして十月、感謝の気持ちを込めて、お世話になった方々を学習発表会に招待しました。

### ずんだもち作り

六月の合宿で、種(サイズ)を蒔いた枝豆がたわわに実り、四年生全員で収穫をしました。もぎ立ての枝豆で、農家の方々に教わりながら、ずんだもち作り、みんなで食べました。



※イラスト：小畑碧羽

### 子供達のお礼の手紙より

こんにちは。お元気ですか。先日のえだ豆のしゅうかくの時は、いろいろなことを教えてください、ありがとうございました。私は、合宿でま



た大豆がすごく大きくなったのに、びつくりしました。ずんだ作りでは、えだ豆をつぶす時に、うでに力を入れてするのがとても大変でした。でも、ずんだは、とてもあまくおいしかったです。ふだんできないことができて、とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。



(星 彩奈)



お元気ですか。久しぶりにお会いできて、うれしかったです。ずんだもち作りでは、うす皮を取ったり、豆をつぶすのがむずかしかったです。コツを教えてください。ずんだもちの味は、今でも忘れられません。本当にありがとうございました。

また、休みの時、加美町に行きたいです。  
(森崎 安加里)



紅葉のきれいな季節になりました。先日は、わたしの学習発表会に来てくださり、ありがとうございました。わたし達は、三つの自

聞いて、とても楽しみにしていました。これからも野野菜作り、がんばってください。そして、すつと元氣でいてください。  
(菅原 来夏)



10月29日 レジナパースホール

## 学習発表会



1年 劇 「うたのきらいなおうさま」



2年 創作和太鼓 「しらゆりっこ太鼓」



3年 「しらゆりマーチングバンド」



4年 表現運動 「La Nature(ラ ナチュラル)」



弦楽合奏団 モーツァルト作曲 「ディヴェルティメント」 K.137 第二楽章



合唱クラブ 「ムーンリバー」「ぼくらのエコー」



5年 劇 「花さき山」



6年 劇 「ノアの箱舟」



閉会の歌 全校合唱「マイバード」、校歌

然を表現しました。わたしは、水のグループでした。二人で布を使うので、息の合わないこともあって大変でした。風、水、火が本物のように見えたなら、とてもうれしいです。これから寒くなるので、お体に気を付けてください。  
(黒坂 ひびき)

寒い季節になりました。土曜日は、わたしの学習発表会「ラ・ナチュール」を見てくださり、ありがとうございました。わたしは、「ラ・ナチュール」は自分たちで振り付けを考え、演技しました。楽しんで見てもらえたなら、とても嬉しいです。わたし達も、楽しんで演技できました。本当にありがとうございました。お体に気を付けて、これからもお元氣がんばってください。  
(栗山 こゆき)

## 十月十九日 学習発表会にご招待

加美町の方十三名が、学習発表会に来てくださいました。開演前、子供達との交流の場が持たれ、本番で子供達は精一杯の演技を披露しました。

### 子供達のお礼の手紙より



紅葉のきれいな季節になりました。先日は、わたしの学習発表会に来てくださり、ありがとうございました。わたし達は、三つの自

聞いて、とても楽しみにしていました。これからも野野菜作り、がんばってください。そして、すつと元氣でいてください。  
(菅原 来夏)



# 中学・高等学校

Junior & Senior High School

## 中学3年 修学旅行 in 道南

七月五日～八日

中学三年 草加みづ紀



今回の道南修学旅行では仲間と四日間を共に過ごし、絆と信頼関係を育むことができました。また、道南の大自然に触れ心を落ち着かせ、キリスト教について深く考えることができました。

最終日に行ったトラピスト修道院で、修道士の方が「愛とは何かお話ししてくださいました。」

「愛とは人と人を繋ぐものであり、最後に必ず愛は勝つ」との言葉に私は心を揺さぶられました。この世界に愛が溢れば平和が訪れるのではないかと考えました。

トラピスト修道院の近くにある教会の前で、校長先生から「初めて行った教会で願い事を唱えようと叶うものですよ」と教えていただき、家族学園生活平和について願いました。



今回の修学旅行で学んだことを今後の生活に生かしていきたいです。

## 中学校テニス部 「県新人戦を振り返って」

中学二年 高橋水詩奈

私が初めてテニスを握り始めたのは、去年の五月でした。グリップの握り方、ラケットの振り方から始まりました。先輩方の姿を見て、私もあのようになりたいと思い、先輩からたくさんアドバイスを頂いたり、辛い時はみんなで励まし合い、助け合いながら毎日頑張って練習してきました。仙台市の新人戦で勝ち進み、県大会に出場することが決まった時は、本当に嬉しかったです。

県新人戦は初めてのインドアでの大会で、雰囲気や周りの人たちのレベルがとても高く緊張しました。この大会での経験を活かして、これからの練習や大会も頑張ろうと思います。



左:工藤 茉依 右:高橋 水詩奈

## 第64回 東北六県中学校英語暗唱大会 第二位

中学三年 藤井 萌

十一月五日、東北六県中学校英語暗唱大会に宮城県代表として出場しました。暗唱とはいえ自分の言葉としていかに感情移入できるか、また身振り手振りが不自然になっただけに気をつけながら、正確にスピーチする事を心がけました。会場はとても緊張した空気に包まれており、直前まで緊張で不安が隠せませんでした。ステージに上がると緊張せずに自分の力を発揮することが出来ました。結果は惜しくも第二位となりましたが、自分に自信を与えてくれる素晴らしい経験となりました。暗唱ではなく、自分の言葉のスピーチで人々に感動を与えられたらどんなにか素晴らしいと思います。高校では留学を考えていますが、これからも好きな英語の勉強に励み、真の国際人になれるように頑張りたいと思います。

先生方のアドバイス、いつも応援してくれた友達や家族に感謝いたします。



▲第2位入賞を果たした藤井 萌

## 高校放送部

高校二年 鈴木 花奈

今年の放送部の活動は、昨年にも増してとても忙しい一年となりました。七月に行われたNHK杯全国大会に向けた作品作りは三月から始まり、何度も取材・編集を繰り返しました。私たち二年生は残念ながら全国大会出場とはなりませんでしたが、取材を通して皆さんのことを学ぶことができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

私たち二年生の三名は、二〇一七年におこなわれる「2017みやぎ総文祭」の放送専門部生徒実行委員会総務を務めており、放送部門の代表として他県の皆さんをおもてなすすることになっています。八月には先に行われた「ひろしま総文祭」に参加し運営を学ぶことができました。次年度、全国高総文祭を成功に導くようがんばります。

最後にもううれしい出来事を報告します。十一月に行われた新人大会において、番組部門で最優秀賞を二つ受賞することができました。これまで費やしてきた時間や努力が報われて、涙がでるほどうれしかったです。来年は今年以上のがんばりで、放送部最後の一年を精一杯がんばろうと思います。



▲見事に受賞を果たした部員達

## 高校かるた部

高校三年 沼田 織花

私は、八月一日から広島県で開催された「第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会」に出場してきました。小倉百人一首かるた部門のメンバーは県予選を勝ち抜いた八人で構成されており、学校は違っても仲が良く、楽しく学びの多い四日間を過ごすことができました。

高校生活最後の大会に、最高のメンバーで出場出来てとても嬉しく、全力で競技に取り組みました。最後という寂しい気持ちもありましたが、あとで後輩たちに託したいと思っています。

来年の第四十回全国高総文祭はご宮城県で開催されます。後輩たちの活躍を期待するとともに、さらに競技かるたを盛り上げて欲しいと思います。



▲緊迫が伝わる競技会場の様子

## 中・高学園祭

九月三日～四日

### 笑顔で彩られた学園祭



高校学園祭実行委員長 高校3年 岩淵 芽生

九月三日、四日「COLORFUL」をテーマに第六十一回学園祭が行われました。入場者数は二千人を超え来校してくださった皆様に感謝申し上げます。去年は無かったやきとりや円形ステージでの発表など見所がたくさんありました。スチーマリスでもポテトやからあげの詰め放題など、人気を集めていました。出店だけでなく、テーマの如く、カラフルに彩られた展示装飾も見る皆様を魅了したところと思います。また、今年、特に力を入れた事はSPホワイトフェスティバルでした。プログラムは、学園祭の収益金の寄付



61回目を迎えた学園祭。テーマは「COLORFUL」

付先の一つであるパレスチナについて、「白百合生の主張」、「君は何色?」、「先生ごきげんよう」、各団体のPRビデオというように様々な企画を組み合わせていただきました。私自身、司会を務めさせていただきましたが、言葉に表わせない程の盛り上がりを楽しませていただきました。今年の笑顔で彩られた学園祭、SPホワイトフェスティバルが、これからの仙台白百合学園中学・高等学校の活性化につながることを祈っております。

数えきれないほど多くの方々に協力していただき、とても幸せでした。保護者の皆様、先生方、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



▲サイエンスラボ



▲(高)ギター部



▲「先生ごきげんよう」

## 第51回 国際理解に関する弁論大会

平和のバトン

### 国際教育研究会 会長賞受賞 高校三年 八幡 莉里花



▲受賞した八幡 莉里花

弁論大会では国際理解や国際協力に関して、積極的に理解を深めようとしている多くの高校生と交流することができました。

私は、本当の国際理解は、過去に起きたことを認め合い、憎しみを乗り越えることだと考え、「敵意」からはじまる平和について、留学の経験をひまえて弁論しました。この弁論大会を通して、自分と同じ高校生の様々な考え方を聞くことができ、新しい視点から国際理解について考えることができました。色々

### 宮城県国際化協会 理事長賞受賞 高校三年 黒沢 樹里



▲受賞した黒沢 樹里

な考え方をもちた高校生が共に刺激し合い、一人では気づくことができなかったことに気づかされました。他の生徒との交流の中で感じたことは、一人一人の国際理解や国際協力に対する意識の高さでした。また、真の国際人とはどのような人なのだろうと改めて考えさせられました。このような高校生が主張できる環境に置かせて頂き、また支えてくださった方々に感謝し、今回の経験を今後に生かしたいと思っています。

## 高校文芸部の活動報告

### 頂点めざせ！ 文芸部の熱い夏！

高校二年 松本ルミナ

はるか南の地、愛媛松山。私達文芸部員はこの夏、俳句甲子園の頂点を目指す高校生の中に居た。大街道商店街で、対戦相手と向かい合う。額に流れる汗を手で拭い、相手を打ち負かさんとマイクに向かって叫ぶ。予選リーグ戦を突破して、ベスト12。はじめての決勝トーナメント戦で敗退。熱く、しかしあつという間の夏だった。

- 小説部門 優良賞 高校三年 近藤 舞
- 詩部門 優良賞 高校二年 金澤 舞
- 入選 高校二年 樋野 菜々子
- 入選 高校二年 小沼 来実
- 短歌部門 優良賞 高校二年 松本ルミナ
- 俳句部門 優良賞 高校三年 平島 和灯
- 優良賞 高校三年 小沼 来実

私の中の眠れるか ジャンヌ・ダルクの碧眼っ

君触れるシヤグルジムや帰り花

優良賞 高校三年 小沼 来実

優良賞 高校三年 平島 和灯

優良賞 高校三年 小沼 来実

文芸部誌部門 優良賞「紫苑第五十号」



「紫苑第50号」

## 英語検定 1級合格

八幡 莉里花(高2)・八幡 泳美(高1) 姉妹



▲姉妹で合格する事ができてうれしかったです！

### 修養会

十月十八日、各学年ごとに講師の方をお迎えし、修養会が行われました。

### 中学生の感想から

中学一年 櫻井 仁那

初めての修養会で私が一番印象的だったのは、マザー・テレサのお話です。最初にDVDで見たマザー・テレサの姿は、一人一人に対して大切に接していて、とても愛が感じられる姿でした。人々が倒れている姿を皆は見ているだけ。けれどマザー・テレサはその一人一人にお話をしたり、お世話をしたりしていました。私は、そのマザー・テレサを見てとても感動しました。私はマザー・テレサがまだ生きていたかと思っていたので、DVDを見てとても驚きました。少し悲しかったです。私はマザー・テレサのように人を親切にして人を愛したいと思います。



中学1年「愛」  
長谷川 昌子 シスター  
(聖パウロ女子修道会)



中学2・3年「愛」  
関谷 義樹 神父様  
(サレジオ修道会)

そして第三講話の「靴屋のマルチン」の話がとても良い話でした。マルチンは困っている人などに食べ物や服をさしたり、お茶を飲ませたりしていました。とても優しく思いやりのある人だと思いました。そして長谷川シスターに教えてもらったことは、神様を助けること。人に背くことは神様に背くこと。人が困っている時は人を助けることをこれからしていきたいと思えます。そして嫌な時があっても背いたりせず、気にしないで、自然に仲直りができるようになっていきたいと思いました。

中学三年 岩井 彩実

今日の神父様のお話を聞いて、これからの自分の生き方を考えさせられました。今、この一秒一秒が過ぎていく中で私たちは自分の死に近づいているということを知り、これからどんな人生を歩んで死へと進むのか深く考えることが出来ました。時々、私は周りの

人を見て、自分には良い所なんてないと思えることがありますが、第二講話のマイクの話を見た時、考えが変わりました。人それぞれに神様から与えられているタラント(才能)を上手に使い、自分を正しく愛することをこれからは忘れずにしたいと思いました。人に無関心にならず、自分が行動して隣人を愛することが出来るようになっていきたいと思いました。

### 高校生の感想から

高校一年 菊池 真衣

私は特に、「好き」という感情と「愛する」という行為は同じではないというお話が印象に残りました。今まで、「好き」という感情が生まれて「愛する」という行為につながり、そこに「愛」が生まれるのだと思っていました。しかし、「隣人を大切にすること」と聖書にもあるように大切に思うことなのだと思解し、日々過ごしている中でこのように神様の愛をより身近に感じました。また、神様つまりSomething Greatという偉大な存在が気づか



高校1年「よろこび」  
伊藤 淳 神父様  
(カトリック清瀬教会)

せてくれるすべての愛からよるこびが生まれ、日々の糧となり毎日の有意義な学園生活を送れていることを改めて実感しました。これからは神様からの多くの恵みに感謝し、隣人を大切にする心を忘れずに過ごしていきたいと思えます。

高校二年 門間 奏水

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」(マタイによる福音書五章九節)人は、生まれてくる時に産声を上げる。それは、母親の平和な胎内に戻りたいという、「絶望の叫び」だということ。しかし、様々なことが待ち受けているこの世界に、私たち一人ひとりが、平和をつくりだすように神様は望んでおられ、この世界に命を送り出したのだと講話の中で学んだ。加藤マ・スールは、人が幸せになるための「幸福学」について教えてくださった。それは、自己表現をしていく「やってみよう因子」、日々感謝する「ありがたみ因子」、何事も前向きに捉える「なんとかなる因子」、そして、他と比較せずに私らしく生き



高校2年「平和」  
加藤 美紀 マ・スール  
(仙台白百合女子大学)

る「私らしく因子」である。私は他者を幸せにすることが出来る、平和を実現する「神の子」になりたいと思った。

高校三年 安藤 亜貴

私たち高校三年生は、テーマである「愛」について、命の尊厳さという点から深く考えることが出来ました。竹内神父様は、すべての物には存在意味があり、私たち人間は人と人との間にいて、自分一人では幸せにはなれないとお話して下さいました。人は完璧ではなく、それは補ってくれる人と出会ったためであると共に、仕え合うことが大切だということに気づかされました。また、その後に行われた分かれ合いでは、少人数のグループに分かれて、「命」についての考えを共有することができ、学びをより深いものにする事が出来ました。今、日本では交通事故よりも自殺で亡くなる人が多くなっています。私たちは言葉のドッチボールをするのではなく、キャッチボールのように相手のことを考えて行動することが必要であり、実行していきたいと思えました。



高校3年「愛」  
竹内 修一 神父様  
(上智大学)

# THE SUMMER SUNFLOWER ENGLISH CAMP

英語科と国際教育部合同企画として、今年度初めてEnglish Campが本校で行われました。8月1日から5日までの5日間、中学生20名が有意義な英語学習の時間を過ごしました。

From my perspective as an instructor, The Summer Sunflower English Camp offered students a unique chance to learn from fluent English speakers in a familiar environment, allowing students to hone their English skills through practical conversation and writing. I think the camp was a great success, encouraging students to continue their interests involving English and preparing them to apply the skills they learned when interacting with non-Japanese people in the future.

Kevin Steer (The Summer Sunflower English Camp 2016 Instructor)

サマーサンフラワーキャンプは生徒たちが実践的な会話と作文を通して英語能力を向上させる、特別な機会となりました。キャンプは大成功だったと思います。これからも英語への興味を持ち続け、日本人以外の人たちとも交流をする際に学んだことを生かしてほしいと思います。

### サマーサンフラワーキャンプに参加して

私はこのキャンプに参加して、たくさんのお話を学びました。リーディング、ライティング、コミュニケーションなどの勉強は、少し難しいと感じることもありましたが、講師の方々に教えてもらい、とても楽しく勉強することができました。また、プレゼンテーションや、アクティビティなどは、学校の中を歩いて、講師の先生を案内したり、図書館へ行って自分のおすすめの本を紹介したり、旅行の計画を立てて、発表したりなど、貴重な体験をすることができました。私はキャンプで学んだことを生かし、さらに英語の勉強を頑張ろうと思いました。

中学1年 由良 心咲



▲みんなで楽しくお料理!!



▲英語を使ってコミュニケーション!!



▲異文化交流はいろいろな発見あり!!

### 台湾研修を終えて今...



私の夢は、大学でマーケティングを学び、商品開発やバイヤーの仕事に従事すること。そのために日本の大学に進学し、日本で就職する事しか頭に無かった私に、台湾研修は大いなる変革を与えてくれた。グローバル化が進む中、世界を相手に仕事を展開するにはどんなスキルやマインドが必要なのか。柔軟でタフで忍耐力と笑顔を駆使し、困難な事にも体当たりで挑戦している台湾の大学生たちとのコミュニケーションは、まさに多くの解答と、感動と、台湾留学という夢を私に与えてくれた。7泊8日のエキサイティングな台湾研修で、世界を理解するファーストステップを終えて今、私の目標は「チャレンジ精神を持つ〜舞台はグローバル化〜」だ。台湾で出会った方々に思いを馳せつつ、これからの高校生活を、夢の実現に向けて、どんなことにもチャレンジしようと思う。自分自身が必ず成長できることを信じて...

高校2年 笹本 直実

### ポーランドから短期留学生 (10月~12月)



左:マギエラ・ダリアさん 右:パウカ・アグネスさん

こんにちは! マギエラ・ダリアと申します。現在17歳で、高校2年生です。言語力がまだまだですが、仙台白百合学園で毎日授業を受けたり、日本の文化をたくさん見せてもらったり、一生のうちに大事な時間になると思っています。将来の夢はテクノロジーになることなので、日本語で化学や物理や数学を受けられて本当に嬉しいです。また、テニス部とオーケストラに入って毎日幸せです! 実はテニスも楽器に弾くことも初めてなので大変ですが、頑張りたいと思います。あっという間ですが、出来るだけ楽しんで、友達を作って、良い時間を過ごしたいと思っています。またどこかで絶対会いましょう!

パウカ・アグネスと申します。ポーランドのクラクフの出身です。日本へ行くことは5年間ずっと私の夢でした。高校を卒業したら日本の大学へ進学したいと思っています。ホストファミリーに連れて行ってもらって、一番気に入った場所は、伝統的な雰囲気に満ちている平泉と松島です。ライトアップが美しい! 食べ物は日本料理と仙台名物、特に抹茶とずんだが大好きになりました。仙台白百合で一番楽しいのは部活です。茶道部と美術部に入っていて、おいしいお茶が飲めるし初めて油絵を描く機会がありました。クラクフでも部活でもたくさん友だちが出来て本当に嬉しいです。